

応募が止まる原因 みつけます診断 事前チェック項目20

このうち3つ以上当てはまる場合、応募や面接で“損”が出ている可能性があります。

① 求人票・募集要項 (5)

- タイトルが抽象的で、他社と区別できない（例：営業募集／現場スタッフ）
- 冒頭3行で「誰に・何を」が言えておらず、読み飛ばされる
- 仕事内容が「何でも」で、1日が想像できず応募されない
- 給与・休日・残業が曖昧で、不安で離脱される
- 伝えたい強みがあるのに、言葉にできていない（＝武器が眠ってる）

② 応募導線 (5)

- 応募ボタン／連絡先が見つげにくく、機会損失が出ている
- フォームが長く、スマホで途中離脱される
- 「まず話だけ」など軽い入口がなく、心理的ハードルが高い
- 応募後の流れ（日数・次の手）がなく、不安で辞退される
- スマホ表示が読みにくく、応募の勢いが止まる

③ 応募後の対応 (5)

- 最初の返信が遅く、他社に取られている
- 返信が定型で、安心感がなく辞退されている
- 日程調整が電話前提で、応募者の負担が大きい
- 面接案内（場所・服装・時間）が不足し、来ない／辞退が出る
- 面接前の準備が不明で、当日ズレる／辞退が起きる

④ 魅力・情報 (5)

- 強みが抽象（アットホーム等）で、選ばれる理由がない
- 写真が少なく、職場の温度感・人間味が伝わらない
- しんどい点／向き不向きを書かず、ミスマッチ採用になる
- 社員の声がなく、働くイメージが湧かない
- 「なぜこの仕事なのか」がなく、腹落ちしない

採用は、気合ではなく
「段取り」と「返事の速さ」で
決まることが多いです。

ご連絡は、こちらの
QRコードからどうぞ

- QRでメールが開きます
- 本文空欄でOK
- 件名は自動で入ります

